

佐久建設事務所 道路事業による整備効果事例

一般国道141号 南牧村 市場坂（社会資本総合交付金事業） 1

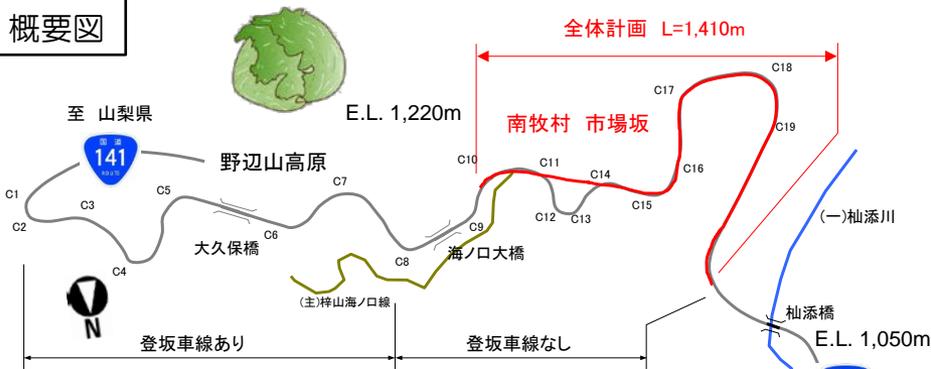
- 国道141号は佐久地域と山梨県を結ぶ幹線道路で、当地一帯の農産物出荷の輸送を担う物流の大動脈。
- 市場坂は最急こう配 $i=6.9\%$ の急坂で、冬期の厳しい気象条件も加わり、交通事故が多発。
- 平成16年度より、延長1,410mの区間について幅員3.0mの登坂車線の整備に着手。
- “イライラ箇所”の解消を図るために、交通安全事業として道路整備を積極的に実施。



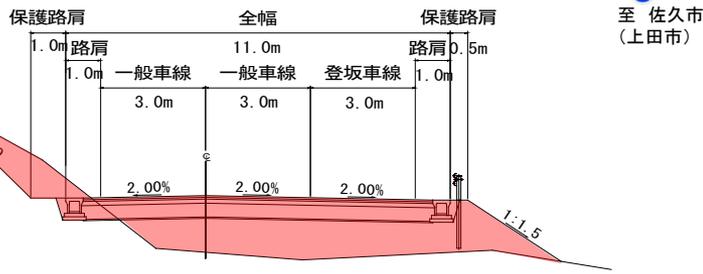
事業概要

事業延長 L=1,410 m
 幅員 W=6.0 (11.0) m
 事業期間 平成16年度～平成23年度
 平成23年12月 全線完成供用

概要図



標準横断面図



整備効果

- 登坂車線の整備により通行車両の安全で円滑な走行が可能となった。
- 整備後、通行車両の速度が改善した。



【資料】
 整備前：平成17年度道路交通センサ報告書より
 整備後：実測値(H26.10調査)

現場状況



整備前



整備後

佐久建設事務所 道路事業による整備効果事例

一般国道141号 南牧村 市場坂（社会資本総合交付金事業） 2

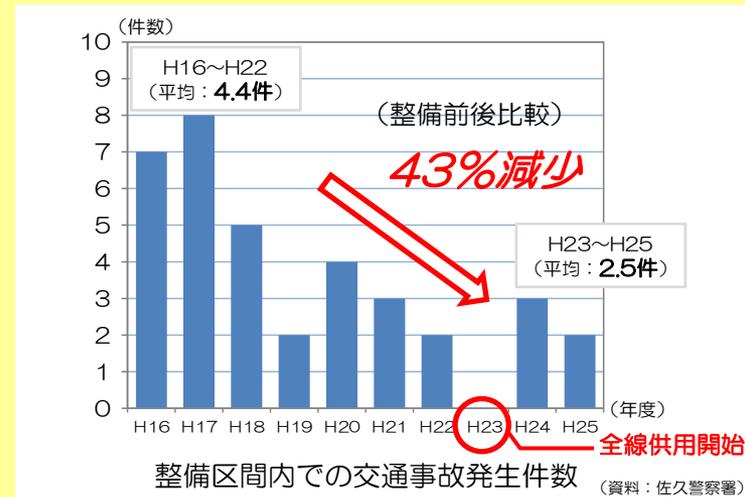
【交通事故発生件数の減少】

① 当地区は積雪寒冷地区のため、路面凍結によるスリップ事故が多く発生していましたが、登坂車線の整備により、幅員が広く確保され、線形改良も行われたことにより、冬期間の事故が減少しました。

＜交通事故発生件数の減少＞

整備前：4.4件（H16～22年 1月～12月 年間平均）
整備後：2.5件（H23～25年 // //）

⇒ 約 43%の減少



【道路整備による経済的効果】（供用後50年間を試算）

- ② 走行時間短縮による経済効果（走行時間短縮便益：約 12.6億円）
- ③ 走行費用減少による経済効果（走行経費減少便益：約 3.0億円）
- ④ 事故減少による経済効果（交通事故減少便益：約 4.2億円）

⇒ 総便益 約 19.8億円



交通事故の様子（整備前）

【円滑な走行環境確保による、地域の安全・安心の確保】



南牧村商工会
（ヒアリング）

以前は、スリップした車両の立往生によって後続車の渋滞が発生していたが、複線化により走行車線が確保され、スリップ車両による渋滞が発生しなくなった。

大型車が登坂車線を走行するので、安心して走行出来るようになりました。引き続き登坂車線の無い区間の整備を強く希望します。



除雪業者
（ヒアリング）